

平成22年1月15日

**ニッケ グループ**

**平成21年11月期**

**(平成20年12月～平成21年11月)**

**決算説明資料**



ニッケ（日本毛織株式会社）

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

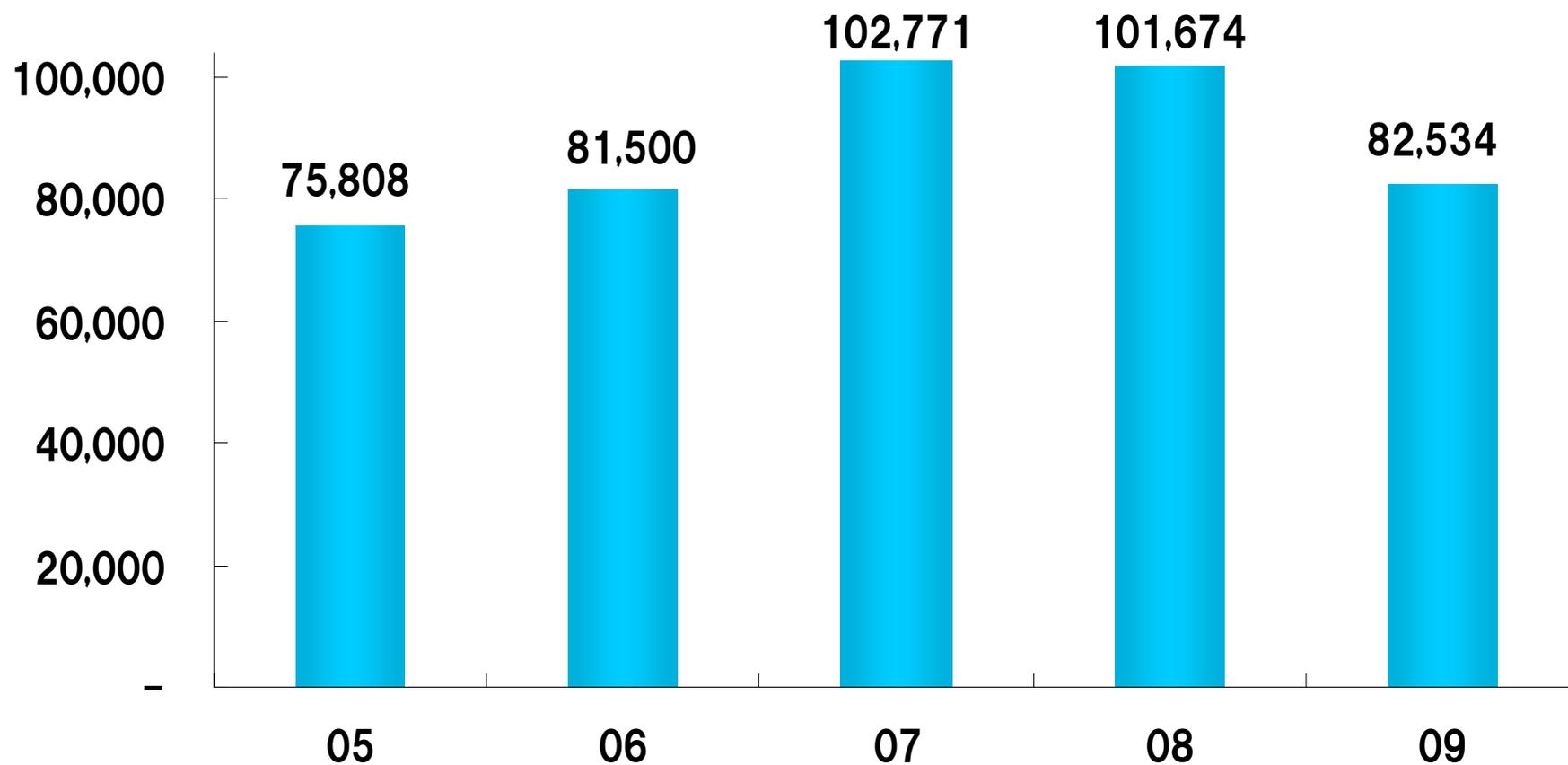
**連結業績概要**

	05年	06年	07年	08年	09年
売上高 (百万円)	75,808	81,500	102,771	101,674	82,534
営業利益 (百万円)	5,862	6,052	6,709	6,984	2,799
経常利益 (百万円)	6,278	6,519	7,004	6,945	2,451
当期純利益 (百万円)	3,724	4,143	4,380	4,035	797
1株当たり 当期純利益 (円)	44.86	50.23	53.08	49.22	9.90

## 連結業績概要

### 売上高

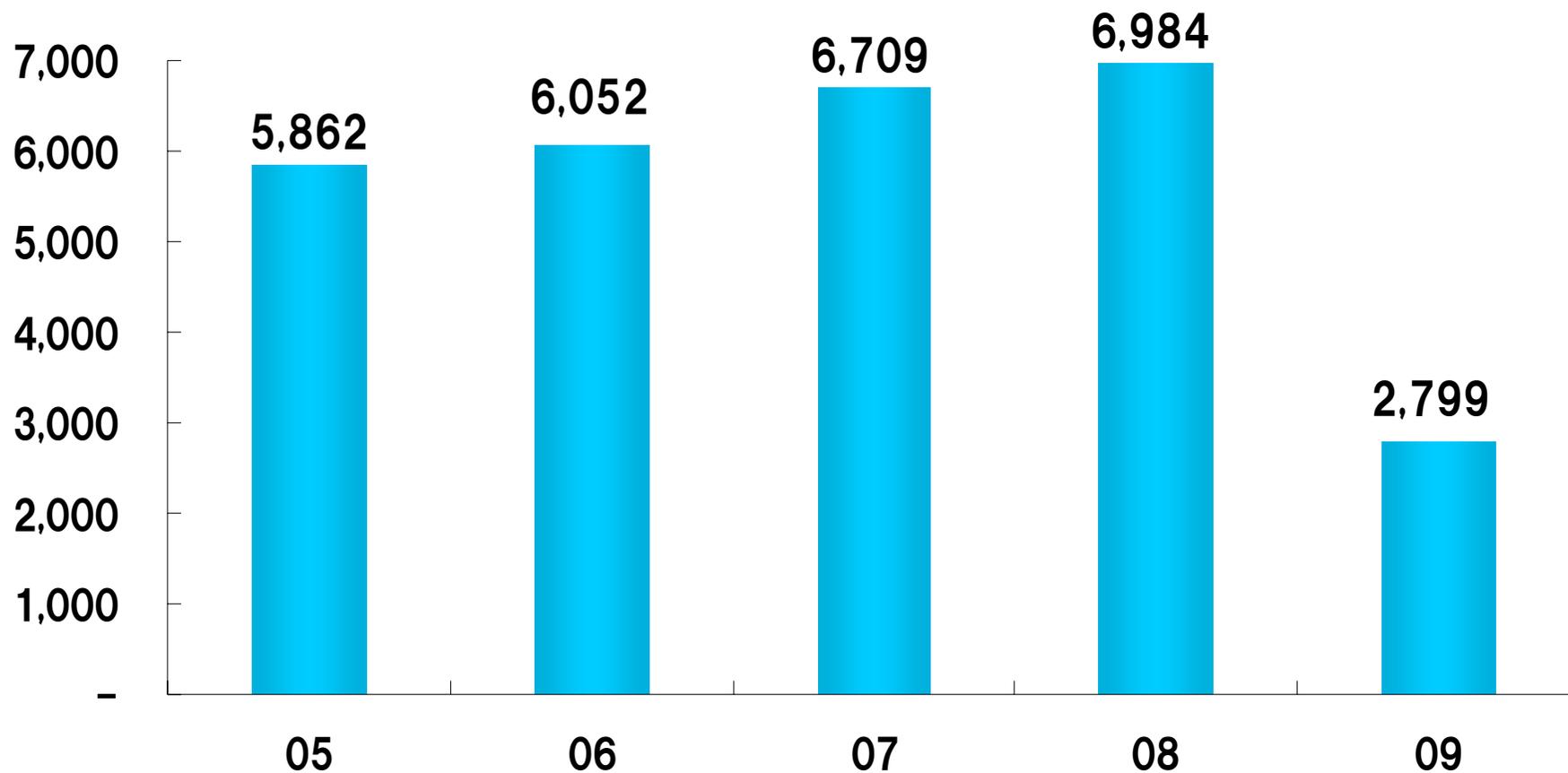
(百万円)



連結業績概要

営業利益

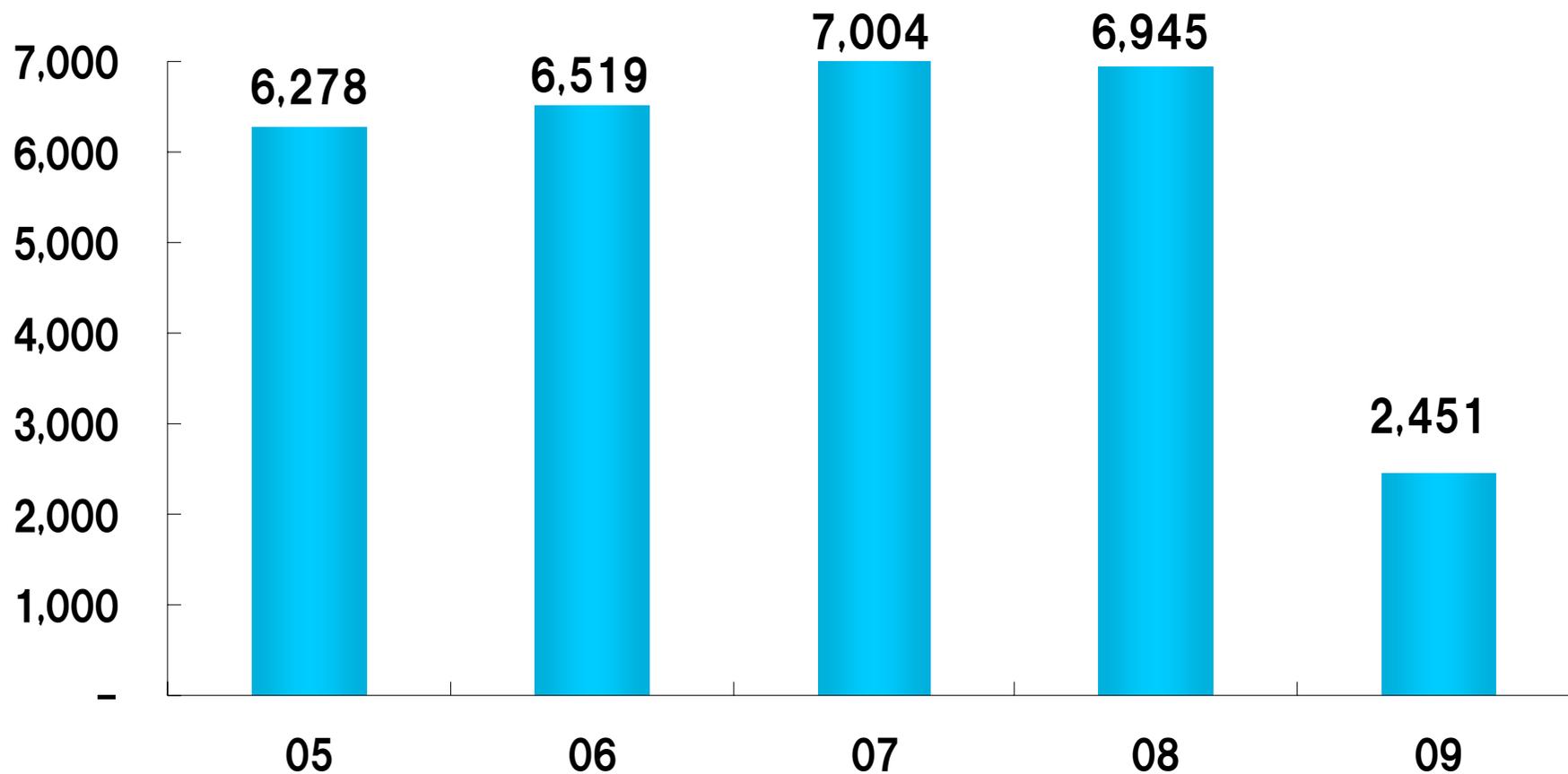
(百万円)



連結業績概要

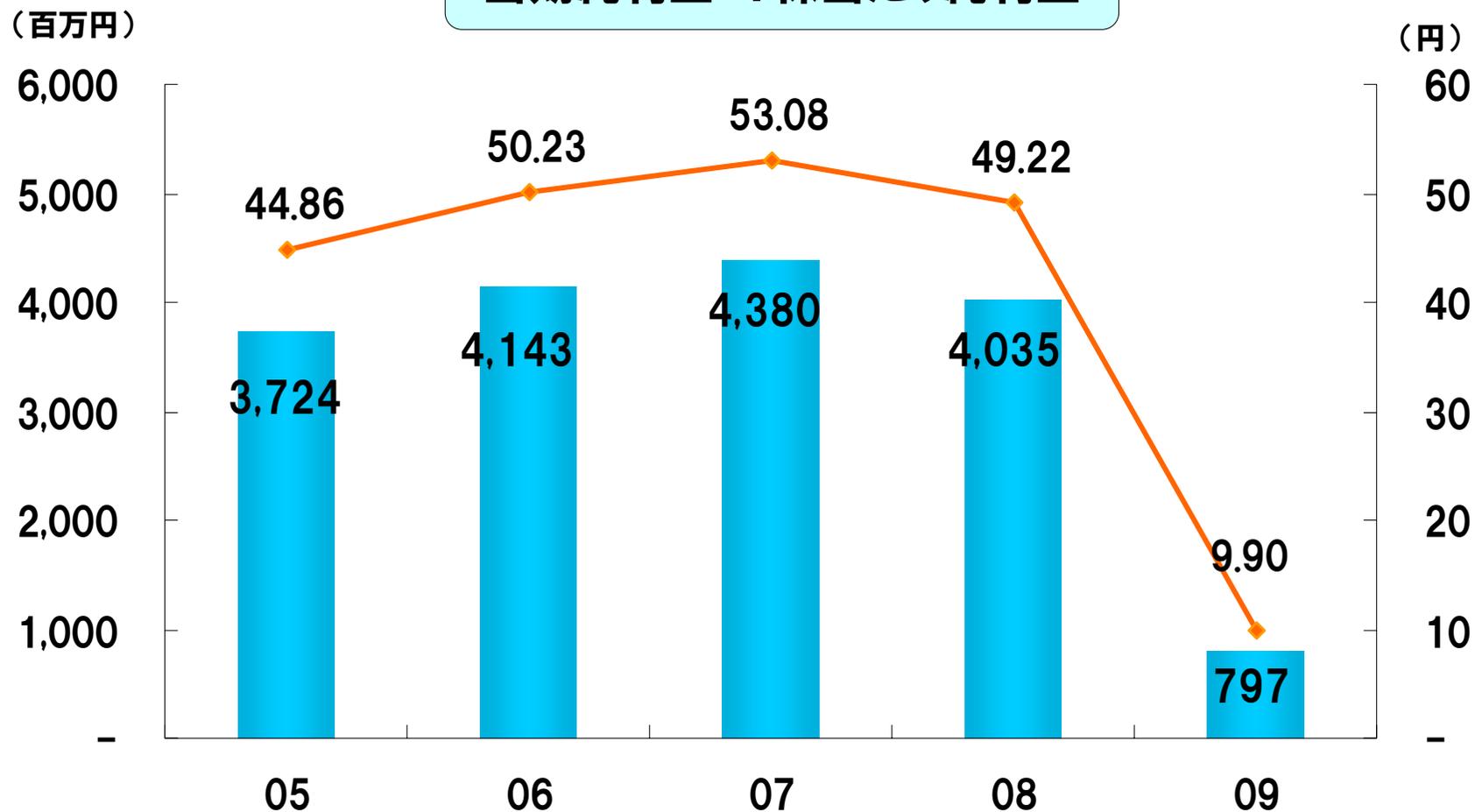
経常利益

(百万円)



**連結業績概要**

**当期純利益・1株当たり純利益**



## 連結業績概要

		08年	09年	増 減	
				金 額	%
売上高	(百万円)	101,674	82,534	-19,140	-18.82
営業利益	(百万円)	6,984	2,799	-4,185	-59.92
営業外損益	(百万円)	-39	-348	-309	-
経常利益	(百万円)	6,945	2,451	-4,494	-64.71
特別損益	(百万円)	-449	-1,000	-551	-
法人税等	(百万円)	2,457	617	-1,840	-
少数株主損益	(百万円)	-2	-36	-34	-
当期純利益	(百万円)	4,035	797	-3,238	-80.25
1株当たり 当期純利益	(円)	49.22	9.90	-39.32	-

### ◆売上高

衣料繊維事業での販売単価下落と販売数量の落ち込み、資材事業の自動車・家電・OA機器向けの不振、エンジニアリング事業の自動車産業向けの不振などを主要因として減収。

### ◆営業利益

販売の落ち込みから減益となる。

### ◆当期純利益

営業利益の減に加え、たな卸資産評価損やSCリニューアル費用、グループでの事業構造改善費用を特別損失に計上し減益となる。

## 連結業績概要

	05年	06年	07年	08年	09年
総資産 (百万円)	133,878	138,718	137,969	126,642	116,962
純資産 (百万円)	76,187	78,115	77,825	71,538	69,875
1株当たり 純資産 (円)	923.24	929.77	926.56	870.77	854.35
自己資本 比率 (%)	56.9	55.3	55.4	55.7	58.9
ROE 自己資本利益率 (%)	5.3	5.4	5.7	5.5	1.1

## 連結業績概要

	08年	09年	増減
総資産 (百万円)	126,642	116,962	-9,680
純資産 (百万円)	71,538	69,875	-1,663
1株当たり 純資産 (円)	870.77	854.35	-16.42

## ◆総資産

主に衣料繊維事業の販売高減少に伴う売上債権・棚卸資産の減少と有価証券評価差額金の減少などにより97億円減少。

## ◆純資産

有価証券評価差額金の減少などにより、16億円減少。

**キャッシュ・フロー**

	05年	06年	07年	08年	09年
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	6,460	2,100	3,252	7,278	10,435
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	-5,188	362	-81	-3,735	-5,693
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	-1,449	-5,846	-4,340	-3,935	-3,447
現金及び現金 同等物期末残高 (百万円)	14,942	11,935	11,112	10,698	11,916

**キャッシュ・フロー**

	08年 (百万円)	09年 (百万円)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,278	10,435
投資活動による キャッシュ・フロー	-3,735	-5,693
財務活動による キャッシュ・フロー	-3,935	-3,447
現金及び現金 同等物期末残高	10,698	11,916

## ◆営業活動によるキャッシュ・フロー

純利益は減少したものの、売上債権やたな卸資産などの減少により収入が増加。

## ◆投資活動によるキャッシュ・フロー

SCリニューアルや賃貸用不動産など固定資産の取得により支出が増加。

## ◆財務活動によるキャッシュ・フロー

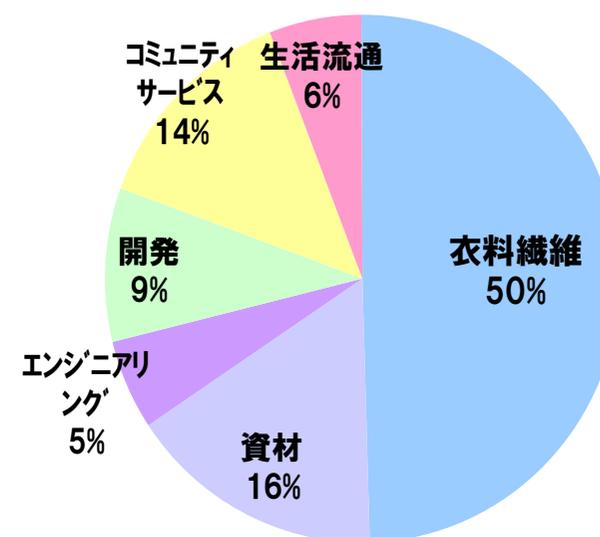
長期借入れによる収入などにより支出が減少。

## セグメント別業績の概要

### セグメント別売上高

セグメント	08年 (百万円)	09年 (百万円)	増 減	
			金 額	%
衣料繊維	50,218	40,835	-9,383	-18.68
資材	17,449	13,330	-4,119	-23.61
エンジニアリング	8,003	4,514	-3,489	-43.60
開発	8,476	7,822	-654	-7.72
コミュニティサービス	11,582	11,256	-326	-2.81
生活流通	5,944	4,773	-1,171	-19.70
売上高計	101,674	82,534	-19,140	-18.82

09年セグメント別売上高比率



※ 08年の数値は、前期実績を当期のセグメント区分により集計したものです。

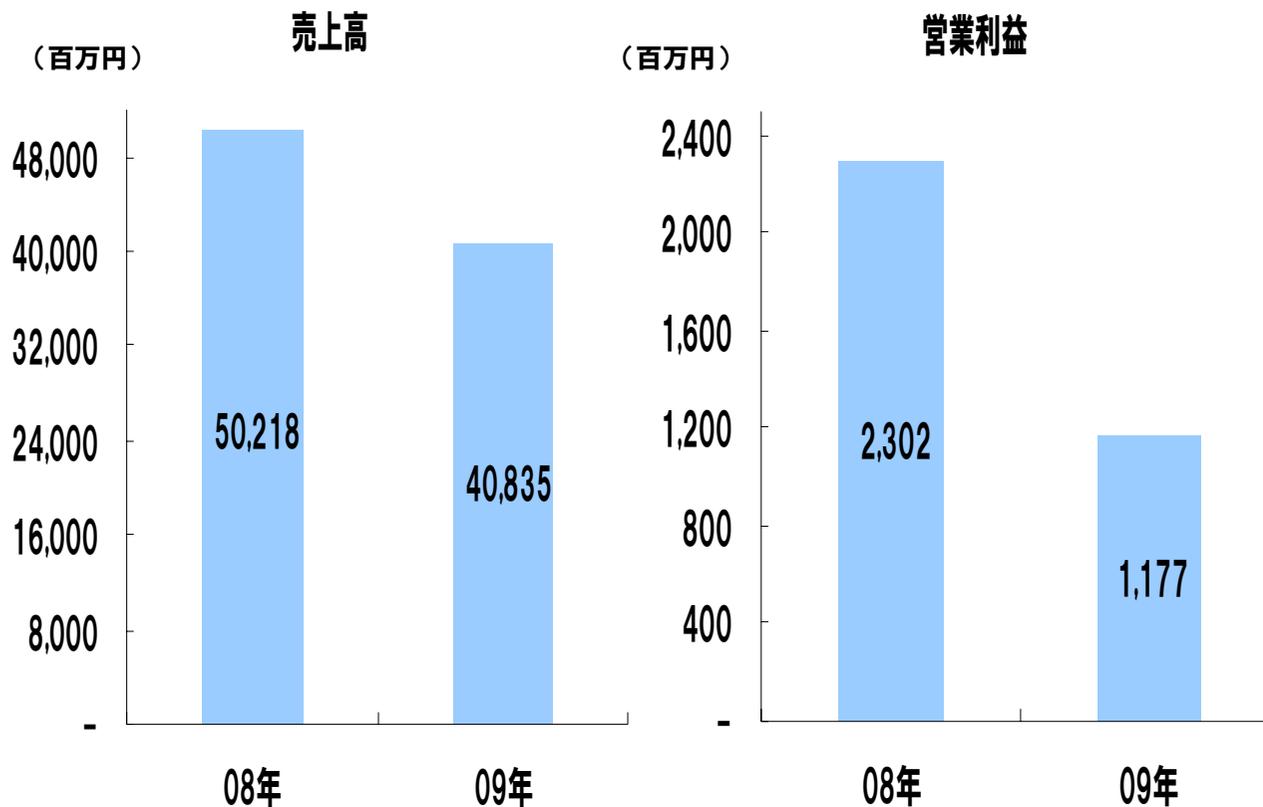
**セグメント別業績の概要****セグメント別営業利益**

セグメント	08年 (百万円)	09年 (百万円)	増 減	
			金 額	%
衣料繊維	2,302	1,177	-1,125	-48.87
資材	919	271	-648	-70.51
エンジニアリング	412	-691	-1,103	-267.72
開発	4,375	2,989	-1,386	-31.68
コミュニティサービス	273	369	+96	+35.16
生活流通	-271	12	+283	-
グループ本社	-1,027	-1,329	-302	-
営業利益計	6,984	2,799	-4,185	-59.92

※ 08年の数値は、前期実績を当期のセグメント区分により集計したものです。

## 衣料繊維事業の概要

<事業内容> 毛糸・毛織物・縫製品等の繊維製品の製造・販売



### ◆売上高

売糸は産地需要の低迷による販売量減と販売価格下落により減収。

学校向け制服用素材はモデルチェンジ校の減少と流通段階での在庫調整により微減収。

官公庁向け製服用素材は官公庁の予算削減による制服更改延期の影響を受け減収。

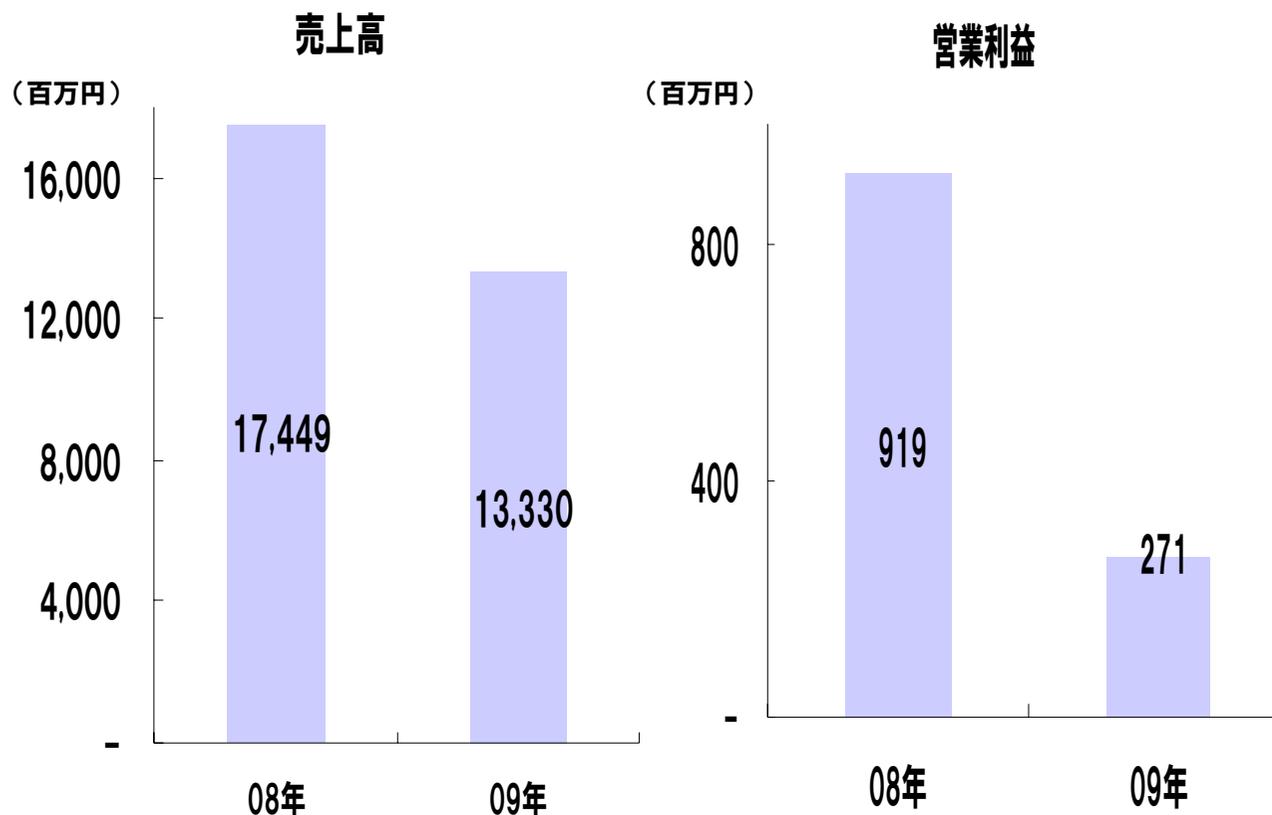
一般企業向け制服素材は企業業績の悪化から受注件数が減少し減収。

メンズ・レディース向け素材・衣料製品は市場の冷え込みが著しく大幅減収。

海外向け事業は、採算性を重視した物件対応を進め減収。

## 資材事業の概要

＜事業内容＞毛布・カーペット・不織布・フェルト等の繊維製品、  
テニス及びバドミントンガット等・釣糸・産業資材の製造・販売



### ◆売上高

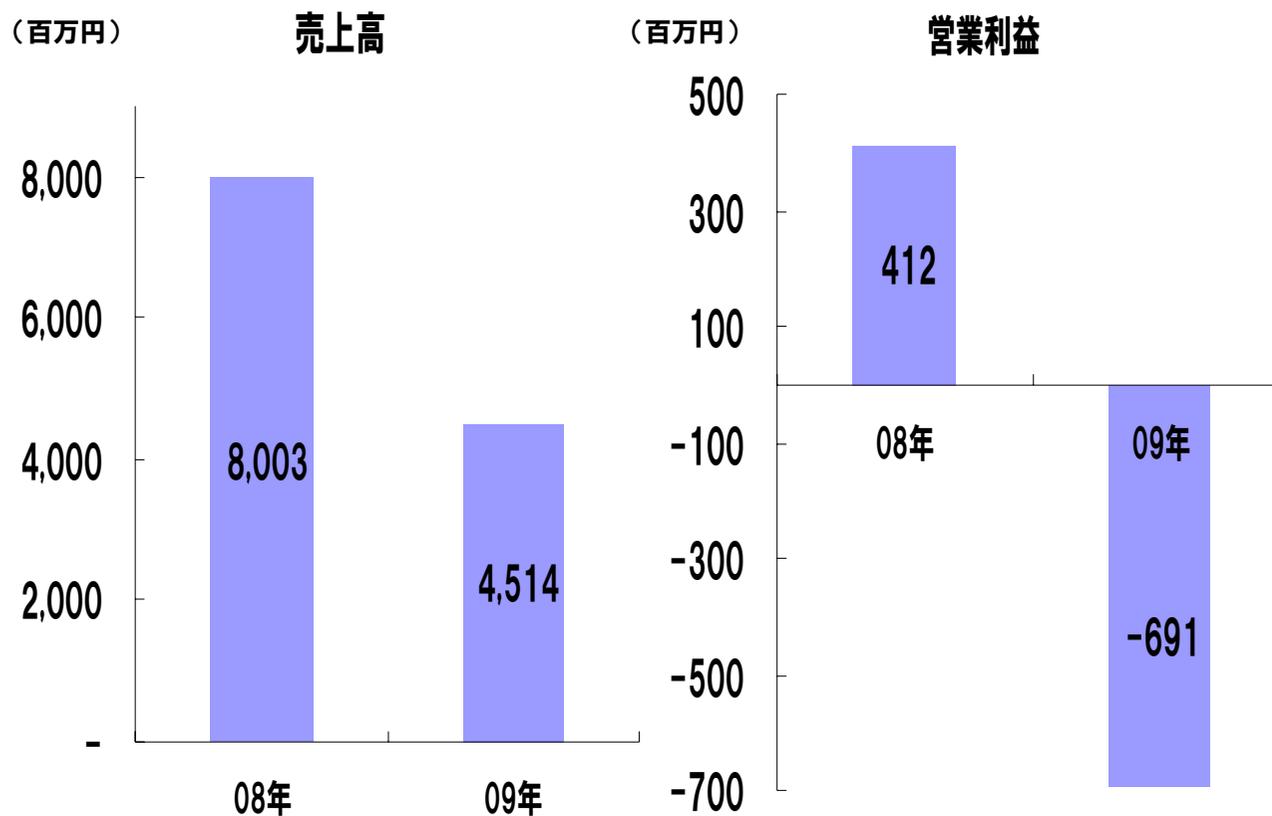
産業用資材は、昨年後半から需要減退するなかで一部回復基調ではあるが、糸・紐・フェルト・不織布ともに減収。

カーペットは業務用途・家庭用途向けともに景況悪化が影響し減収。

生活用資材のうち、ラケットスポーツ用品は新商品投入により国内販売は増収となったが、海外販売は景況悪化や円高から減収、釣糸は個人消費の落ち込みが厳しく減収。

# エンジニアリング事業の概要

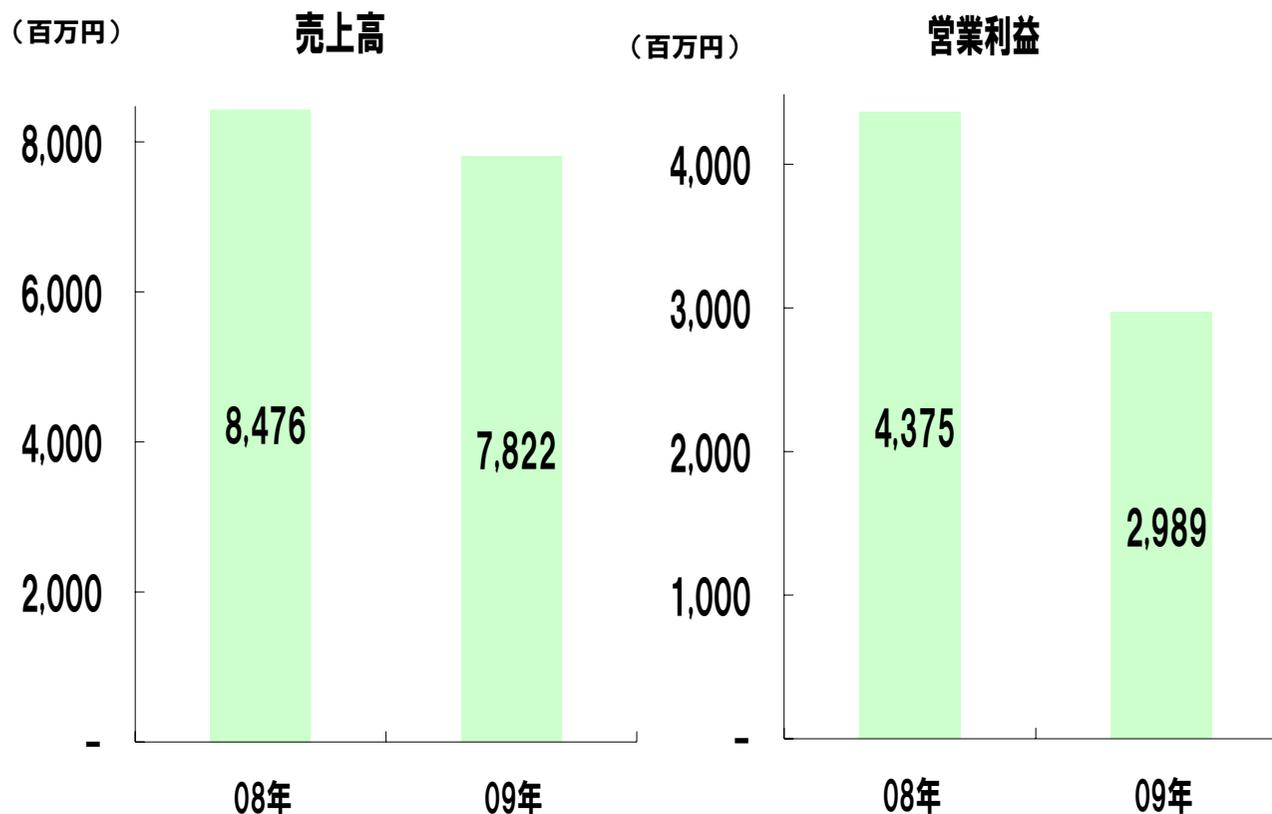
**<事業内容> 産業用機械の製造・販売、電子・電気計測器及び  
制御装置の 製造・販売**



**◆売上高**  
産業向け機械、電子・電気計測器分野のいずれも景況悪化の影響を受け、企業設備投資の落ち込みから大幅減収。

**開発事業の概要**

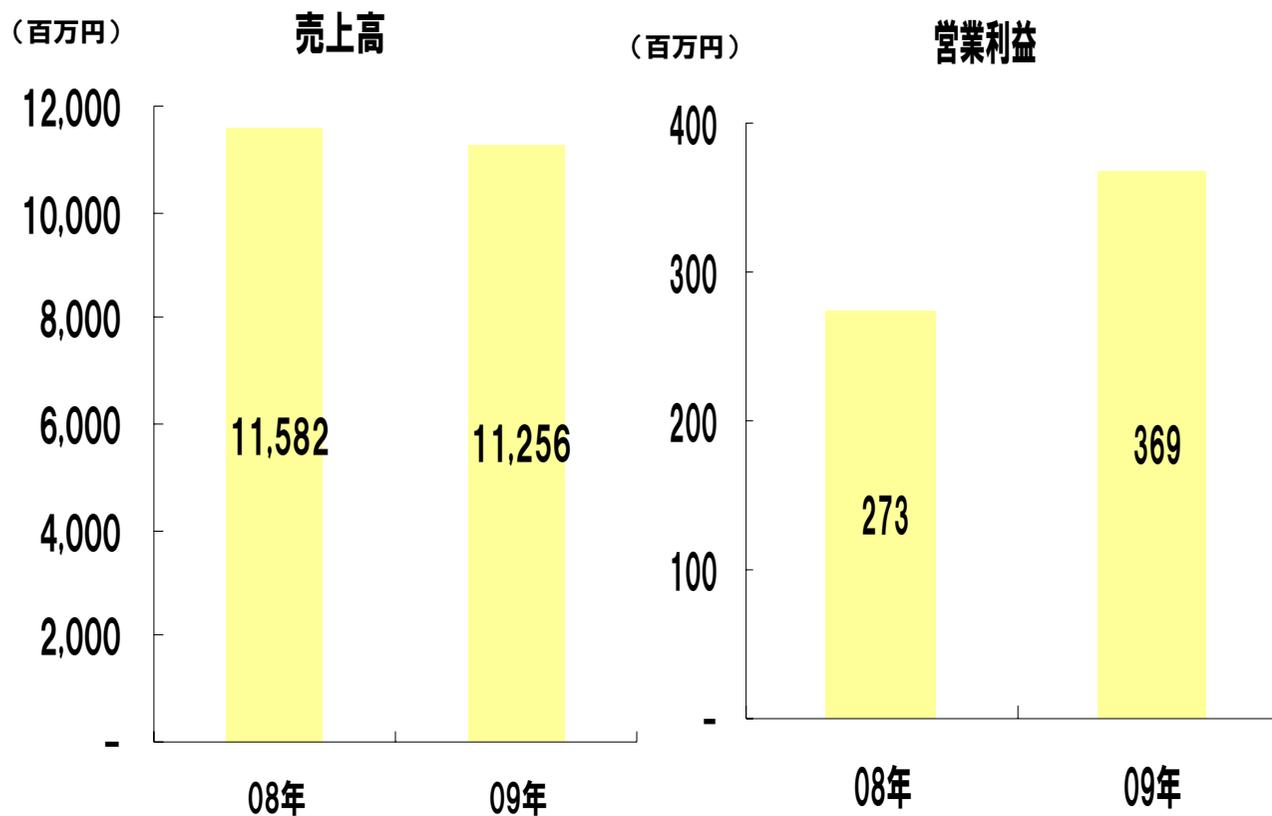
**<事業内容>ショッピングセンターの賃貸事業、  
不動産の建設・販売・賃貸**



**◆売上高**  
 商業施設運営事業は「ニッケパークタウン」が新型インフルエンザの影響を受け減収となったが、「ニッケコルトンプラザ」が5月グランドオープン以後順調に売上を伸ばし、全体では増収。  
 不動産事業は景況悪化からテナントの撤退や賃料引下げ要請が増加したことに加え、前期では大型宅地分譲があったため減収。

## コミュニティサービス事業の概要

**<事業内容>ゴルフ・テニス・乗馬等のスポーツ事業、  
携帯電話の販売、介護サービス事業**



**◆売上高**

スポーツ事業はゴルフコース・練習場の入場者は増加傾向だったが、グループ会社の決算期変更により当期は10ヶ月の実績となり、大幅減収。

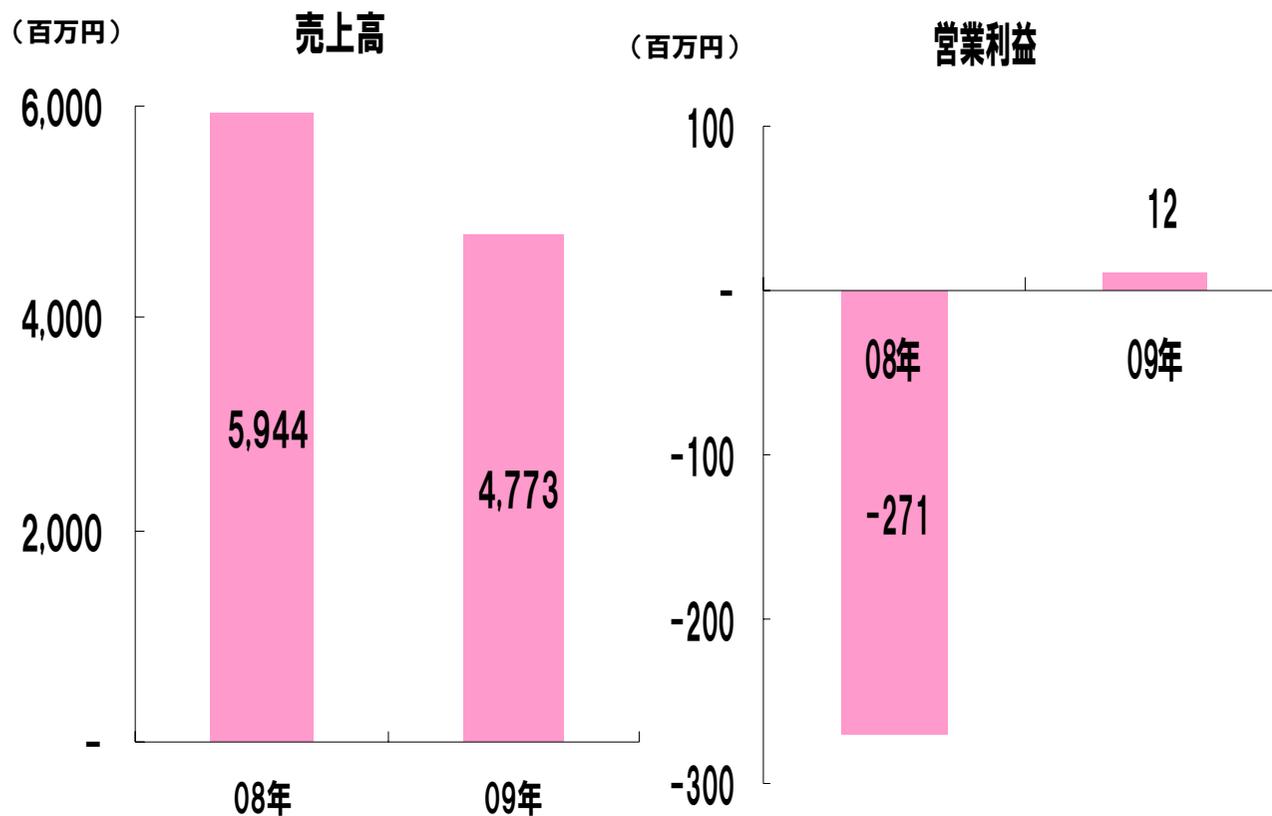
介護事業はデイサービス・小規模居宅介護事業ともに利用者が順調に伸び増収。

アミューズメント事業は個人消費の冷え込みが厳しく減収。

携帯電話販売事業は買替えサイクルが長期化し、端末販売の低迷から減収。

**生活流通事業の概要**

**<事業内容> 寝装品・馬具・乗馬・ペット用品・ペットフード  
の製造・販売**



**◆売上高**

毛布・寝装品は消費者の買い控えから減収。

手編毛糸は低価格志向の進行と競争激化により減収。

馬具・乗馬用品は海外では市場が冷え込むなか中国・インド製の低価格製品が流入、国内市場も低調な推移となり減収。

ペット用品は競合企業の事業縮小や撤退などによりほぼ前期並み、ペットフードは消費者の低価格志向から減収。

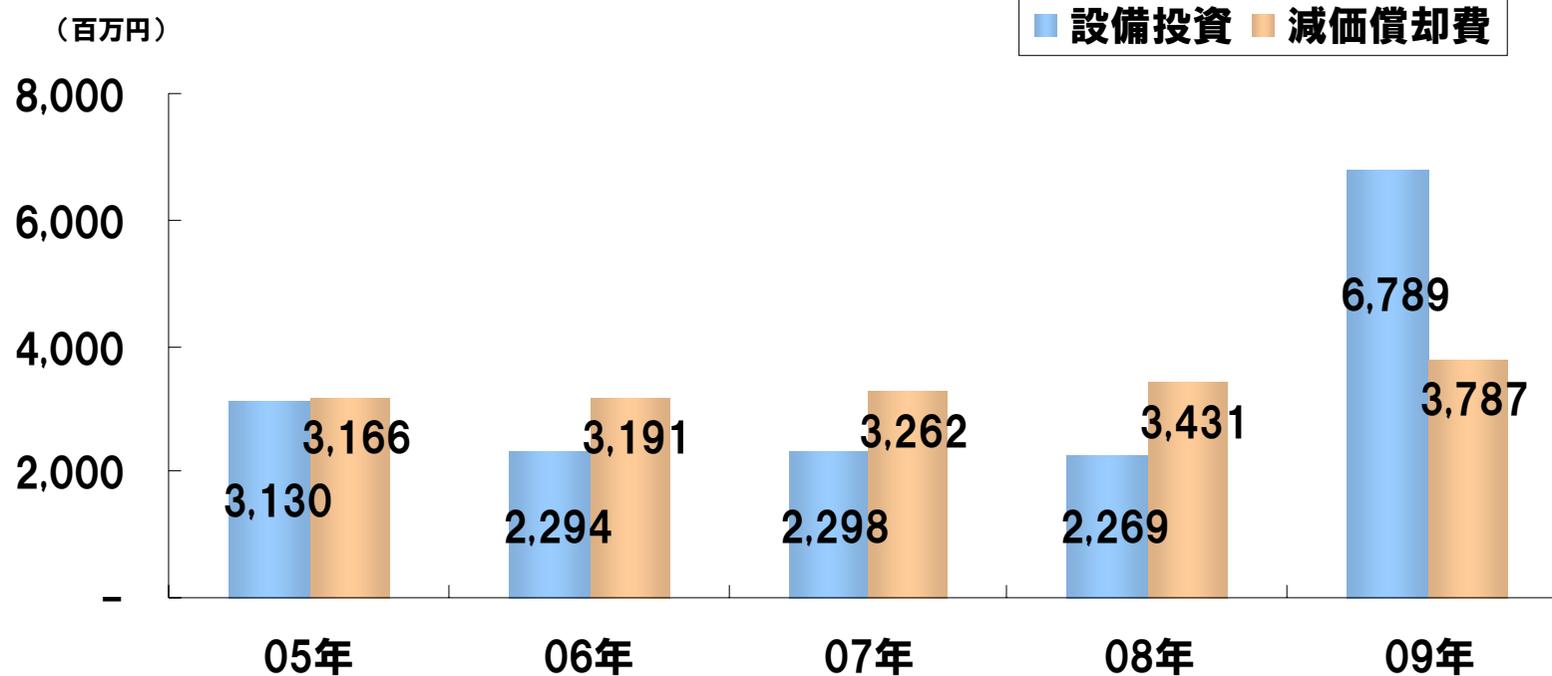
**業績予想**

	08年	09年	2010年予想	増減
<b>売上高</b> (百万円)	101,674	82,534	88,000	+5,466
<b>営業利益</b> (百万円)	6,984	2,799	3,500	+701
<b>経常利益</b> (百万円)	6,945	2,451	3,500	+1,049
<b>当期純利益</b> (百万円)	4,035	797	2,100	+1,303
<b>1株当たり 当期純利益</b> (円)	49.22	9.90	26.06	+16.16
<b>配当</b> (円/株)	18	18	18	-

**セグメント別業績予想**

セグメント	2010年予想	
	売上高(百万円)	営業利益(百万円)
衣料繊維	41,600	1,400
資材	14,700	440
エンジニアリング	5,100	-420
開発	8,800	3,000
コミュニティサービス	12,600	440
生活流通	5,200	100
グループ本社	-	-1,460
計	88,000	3,500

## 設備投資・減価償却費



## 対処すべき課題

当社グループは「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」の実現に向けて「NN120第1次(2009～2011)中期経営計画」を策定し、経営の基本戦略が共通する6つの事業領域を編成し、以下の施策を実行していく。

### <衣料繊維事業>

強みである原料から織物までの一貫生産による品質と技術を更に強化し、高品質・高付加価値・高機能商品の提供と積極的な海外展開を推進する。

### <資材事業>

裾野の広い産業資材分野での成長を目指すとともに、積極的なM&A戦略により、事業規模の拡大を目指す。

### <エンジニアリング事業>

設計能力と商品開発の強化、積極的なM&Aを推進し、事業規模拡大と収益の安定化を目指す。

## 対処すべき課題

### <開発事業>

グループ全体の資産の有効活用と価値向上を追求し、長期的な視点での「街作り」開発を推進することにより、資産価値の向上を図る。

### <コミュニティサービス事業>

“コミュニティ＝地域社会”に貢献する独自の「ニッケのサービス」を創出・提供することにより、本格的なサービス事業の展開を目指す。

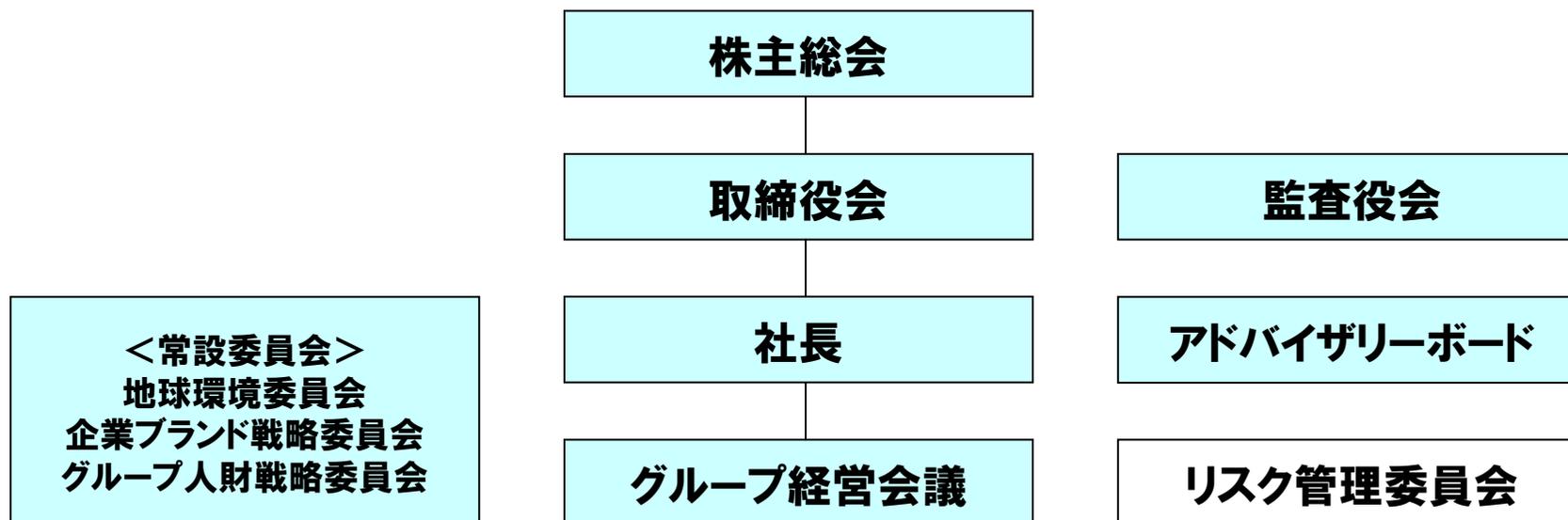
### <生活流通事業>

戦略的ブランディングと生活文化を創造する商材開発によりその価値を高め、規模と収益の拡大を目指す。

当中期経営計画においては、6事業領域・全方位で、「限定せず、内向きにならず、外に向かう」という方針を進め、生産性向上への改革とより顧客の満足する新しい商品・ビジネスの開発を加速し、海外事業展開を積極的に実行する。

各事業領域において重要課題を明確化することにより、業績の回復に全力を挙げていく。

## コーポレートガバナンス



2001年 取締役会議長を代表権のない取締役に

2005年 役員退職慰労金制度を廃止

2003年 取締役の任期を1年に短縮

2006年 執行役員制度を導入

2004年 アドバイザリーボードを設置

2007年 社外取締役2名に増員

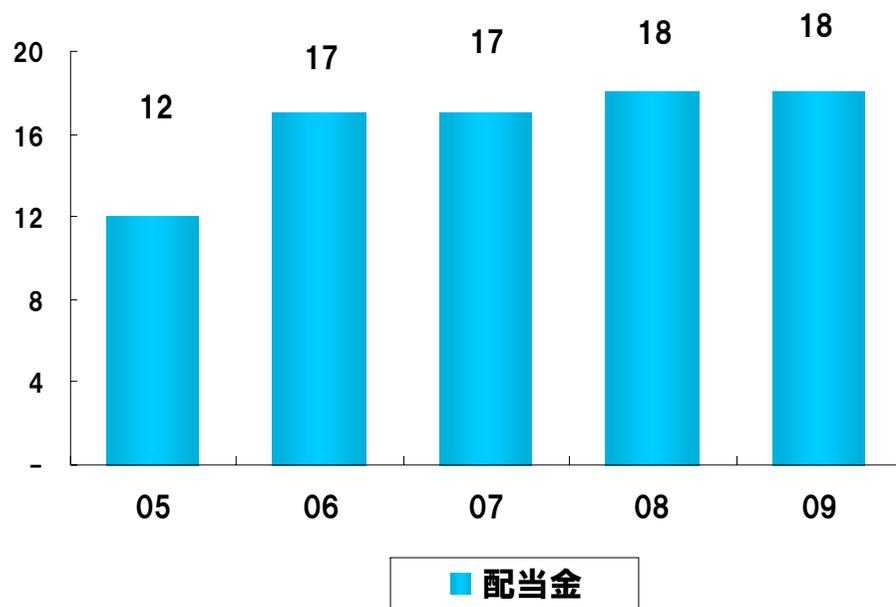
2009年 社外取締役3名に増員

**株主還元方針**

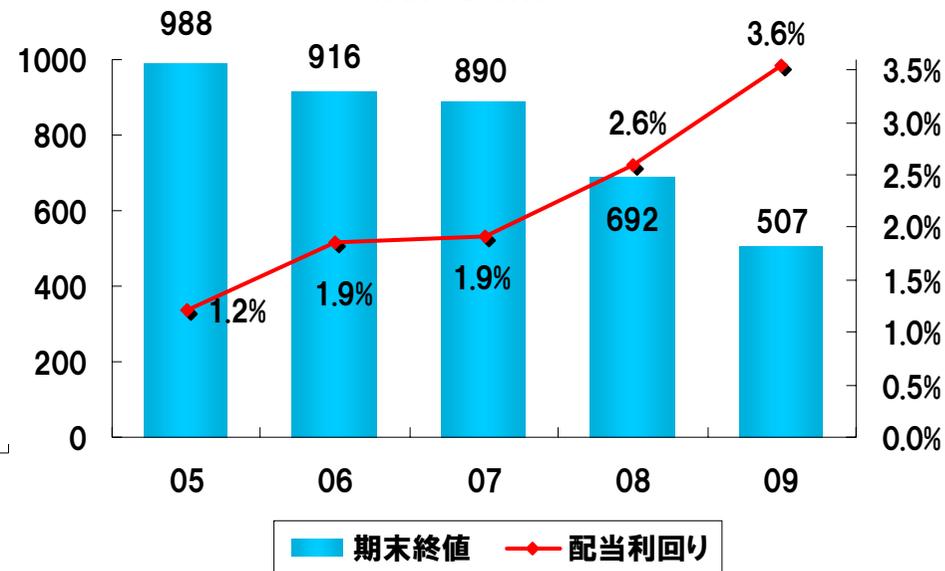
利益水準に応じて持続的に配当水準を引き上げていく。

次期については、引き続き年間1株当り18円を目標とする。

配当金の推移



株価・配当利回り



**(参考) 羊毛相場・為替相場の推移**

